

## 精神保健福祉援助演習Ⅰ

担当教員 平川 泰士

配当年次 4年

開講時期 第1学期

単位区分 選択

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

①精神保健福祉援助の知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、精神障害者の生活や生活上の困難について理解を深める。②精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について体系的な概念や理論をもとに、専門的援助技術として実践的に展開できる能力を身につける。③総合的包括的な相談援助・保健医療福祉のチームアプローチなどを具体的事例をもとに理解する。④ロールプレイを通じた個別・集団での指導をもとに、具体的場面を想定した対応力を身につける。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	事例の理解（退院支援、地域移行、地域生活継続）
2	包括的援助の実践的習得（退院支援、地域移行に関する相支援過程の実技指導）
3	包括的援助の実践的習得（地域生活継続に関する相支援過程の実技指導）
4	事例の理解（社会的排除、貧困、低所得、ホームレス）
5	包括的援助の実践的習得（社会的排除に関する相支援過程の実技指導）
6	包括的援助の実践的習得（貧困等に関する相支援過程の実技指導）
7	事例の理解（自殺、ひきこもり、児童虐待、薬物・アルコール依存等、ピアサポート）
8	包括的援助の実践的習得（自殺に関する相支援過程の実技指導）
9	包括的援助の実践的習得（ひきこもり等に関する相支援過程の実技指導）
10	事例の理解（教育、就労（雇用））
11	包括的援助の実践的習得（就労（雇用）に関する相支援過程の実技指導）
12	包括的援助の実践的習得（教育に関する相支援過程の実技指導）
13	事例の理解（精神科リハビリテーション・その他の危機状態）
14	包括的援助の実践的習得（精神科リハビリテーション等に関する相支援過程の実技指導）
15	自己の援助関係構築方法に対する理解と自己覚知

## 【履修上の注意事項】

- 1 常に臨床場面を想定し、専門職としてのロールプレイ・演習中の発言・事前学習準備など主体的参加を求める
- 2 事例や学生同士の自己開示における守秘義務の徹底
- 3 ロールプレイや事例学習にて得られた知見をもとに専門職としての自己と重ね合わせ振り返りを行うこと
- 4 指定された課題に取り組み、復習を行うこと（30分～2時間）

## 【評価方法】

事例・ロールプレイ・課題における評価：50%  
 授業中のレスポンスやチームとして取り組む姿勢：50%  
 演習のため、期末試験、再試験は実施しない。

## 【テキスト】

特に使用しない。  
 必要な資料を適宜配布する。

## 【参考文献】

講義時指定する